

## 第2期 新させぼっ子未来プラン

教育・保育の量の見込み 及び 地域子ども・子育て支援事業  
実績報告（令和2年度～令和6年度）



佐世保市子ども未来部

# 1 教育・保育の量の見込み 実績1

教育・保育の量の見込み = 利用者ニーズの推計

2号認定は計画人数を上回ったものの、その他の区分、合計ともに計画人数を下回り、3号認定(0歳)を筆頭に利用者ニーズも減少しました。

令和7年度以降も当面は同様の傾向をたどるものと推測され、動向について引き続き注視します。

計画策定当初		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1号認定	2,993人	2,875人	2,817人	2,785人	2,788人
	2号認定	3,516人	3,377人	3,309人	3,270人	3,275人
	3号認定(0歳)	946人	972人	996人	1,007人	1,020人
	3号認定(1・2歳)	2,577人	2,694人	2,736人	2,759人	2,770人
	合 計	10,032人	9,918人	9,858人	9,821人	9,853人

令和2～3年度実績

見直し後

中間見直し		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1号認定	2,587人	2,435人	2,339人	2,267人	2,196人
	2号認定	3,932人	3,847人	3,696人	3,582人	3,469人
	3号認定(0歳)	819人	802人	841人	843人	843人
	3号認定(1・2歳)	2,548人	2,607人	2,552人	2,565人	2,625人
	合 計	9,886人	9,691人	9,428人	9,257人	9,133人

令和2～3年度実績

令和4～5年度実績

令和6年度実績

実績報告		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1号認定	2,587人	2,435人	2,223人	2,004人	1,801人
	2号認定	3,932人	3,847人	3,728人	3,649人	3,688人
	3号認定(0歳)	819人	802人	731人	692人	683人
	3号認定(1・2歳)	2,548人	2,607人	2,513人	2,500人	2,371人
	合 計	9,886人	9,691人	9,195人	8,845人	8,543人

# 1 教育・保育の量の見込み 実績2

## 確保方策の方向性 = 施設受入体制

教育・保育の量の見込み(利用者ニーズ)を上回る確保方策(施設受入体制)を提供することができました。

令和7年度を始期とする「佐世保市子どもまんなか計画」においても、引き続き量の見込みと確保方策のバランスが取れた適正な規模の確保方策を提供します。

(単位：人)

計画策定当初				令和2年度10,032人			令和3年度9,918人			令和4年度9,858人			令和5年度9,821人			令和6年度9,853人		
				1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号
	確保方策 計			2,993	3,516	3,523	2,875	3,377	3,666	2,817	3,309	3,732	2,785	3,270	3,766	2,788	3,275	3,790
確保方策	特定教育保育施設			2,259	3,472	3,394	2,141	3,333	3,537	2,083	3,265	3,603	2,051	3,226	3,637	2,054	3,231	3,661
	特定地域型保育事業			0	18	29	0	18	29	0	18	29	0	18	29	0	18	29
	確認を受けない幼稚園			734	0	0	734	0	0	734	0	0	734	0	0	734	0	0
	認可外保育施設			0	26	100	0	26	100	0	26	100	0	26	100	0	26	100

令和2～3年度実績

教育・保育量の見込と整合

中間見直し				令和2年度10,531人			令和3年度10,569人			令和4年度9,428人			令和5年度9,257人			令和6年度9,133人		
				1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号
	確保方策 計			3,370	3,764	3,397	3,179	3,935	3,455	2,339	3,696	3,393	2,267	3,582	3,408	2,196	3,469	3,468
確保方策	特定教育保育施設			3,030	3,724	3,218	2,870	3,854	3,267	2,030	3,615	3,205	1,958	3,501	3,220	1,887	3,388	3,280
	特定地域型保育事業			0	14	28	0	13	35	0	13	35	0	13	35	0	13	35
	確認を受けない幼稚園			340	0	0	309	0	0	309	0	0	309	0	0	309	0	0
	認可外保育施設			0	26	151	0	68	153	0	68	153	0	68	153	0	68	153

令和2～3年度実績

令和4～5年度実績

令和6年度実績

実績報告				令和2年度10,531人			令和3年度10,569人			令和4年度10,995人			令和5年度10,684人			令和6年度10,360人		
				1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号
	確保方策 計			3,370	3,764	3,397	3,179	3,935	3,455	3,085	4,125	3,785	2,840	4,090	3,754	2,541	4,105	3,714
確保方策	特定教育保育施設			3,030	3,724	3,218	2,870	3,854	3,267	2,784	4,058	3,615	2,549	4,059	3,557	2,285	4,072	3,545
	特定地域型保育事業			0	14	28	0	13	35	0	12	25	0	6	29	0	11	28
	確認を受けない幼稚園			340	0	0	309	0	0	301	0	0	291	0	0	256	0	0
	認可外保育施設			0	26	151	0	68	153	0	55	145	0	25	168	0	22	141

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ①利用者支援事業

## 事業内容

教育・保育施設や地域の子育て支援について情報収集を行うとともに、利用希望者への相談に応じ、関係機関等との連絡調整等を実施する事業

計画策定当初	区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	基本型・特定型	量の見込み(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
		確保方策(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
	母子保健型	量の見込み(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
		確保方策(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所

中間見直し	区分		令和2～3年度実績		見直し後		
	基本型・特定型	量の見込み(実施体制)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		確保方策(実施体制)	1 か所	0か所	1 か所	1 か所	1 か所
	母子保健型	量の見込み(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
		確保方策(実施体制)	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所

実績報告	区分		令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
	基本型・特定型		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			1 か所	0か所	0か所	0か所	0か所
	母子保健型		1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所

## 実績評価・今後の方向性等

- 基本型・特定型＝「保育コンシェルジュ」  
特定型を令和4年度以降、改めて設置することはありませんでしたが、保育コンシェルジュ廃止後においても利用者へのサービス低下とならないよう、各窓口において十分に連携するなど、支援体制を維持してまいりました。
- 母子保健型＝心身の問題や経済面での支援等、必要とする支援が多様化してきております。今後は、令和6年度に設置した、母子保健と児童福祉の機能を一体的に支援する「すこやか子どもセンター」において、引き続き妊娠中から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図っていきます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ②地域子育て支援拠点事業

**事業内容**  
乳幼児とその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (月あたり延べ利用人数)	8,290人	8,200人	8,120人	8,030人	7,950人
	確保方策 (実施体制)	公立の施設での対応及び民間施設への委託を通じ、子育て支援事業として「交流の場の提供・交流促進」、「子育てに関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子ども・子育て支援に関する講習」等を実施				

中間見直し	区分	令和2～3年度実績		見直し後		
	量の見込み (月あたり延べ利用人数)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (月あたり延べ利用人数)	4,932人	4,483人	7,040人	6,900人	6,770人
	確保方策 (実施体制)	公立の施設での対応及び民間施設への委託を通じ、子育て支援事業として「交流の場の提供・交流促進」、「子育てに関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子ども・子育て支援に関する講習」等を実施				

実績報告	区分	令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
	量の見込み (月あたり延べ利用人数)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (月あたり延べ利用人数)	4,932人	4,483人	5,226人	5,995人	5,780人
	確保方策 (実施体制)	公立の施設での対応及び民間施設への委託を通じ、子育て支援事業として「交流の場の提供・交流促進」、「子育てに関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子ども・子育て支援に関する講習」等を実施				

**実績評価・今後の方向性等**

令和2～3年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により利用人数は減となっています。  
中間見直し時は少子化の影響により、減少傾向が続くことを想定しましたが、令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減したことにより利用人数が増加しており、今後も緩やかな増加または横ばいの傾向が続くと考えられます。  
また、市の重層的支援体制整備事業の実施に向けた取組が進む中、地域子育て支援センターの事業内容についても検討の必要があると考えます。

## 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ③妊婦健康診査

### 事業内容

妊婦と胎児の健康の保持・増進を図るため、妊婦に対する健康診査を実施するとともに、妊娠期間中の医学的検査を実施する事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (受診人数) (延べ受診回数)	1,960人 23,520回	1,930人 23,160回	1,900人 22,800回	1,870人 22,440回	1,840人 22,080回
	確保方策	・実施場所：医療機関 ・実施時期：随時実施				

#### 令和2～3年度実績

#### 見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (受診人数) (延べ受診回数)	1,815人 21,648回	1,703人 19,378回	1,630人 19,560回	1,570人 18,840回	1,500人 18,000回
	確保方策	・実施場所：医療機関 ・実施時期：随時実施				

#### 令和2～3年度実績

#### 令和4～5年度実績

#### 令和6年度実績

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み (受診人数) (延べ受診回数)	1,815人 21,648回	1,703人 19,378回	1,609人 18,259回	1,463人 16,285回	1,484人 16,553回
	確保方策	・実施場所：医療機関 ・実施時期：随時実施				

### 実績評価・今後の方向性等

当初の見込みより、母子健康手帳の交付数（出生数）の減少に伴い、妊婦健診の受診者数・回数が減少しています。

令和6年度の実績においては、計画値を下回っているものの、令和5年度からは微増となっています。今後も同じような傾向が続くか実績数値に注視し、適宜、対応していく必要があると考えます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ④乳児家庭全戸訪問事業

## 事業内容

生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、「子育て支援に関する情報提供」、「乳児・保護者の心身の状況及び養育環境の把握」、「養育についての相談」を行う事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(対象者数)	1,910人	1,910人	1,910人	1,910人	1,910人
	確保方策	・市(子ども保健課)において実施。 家庭訪問員(平成30年度:14人)、助産師(平成30年度:5人)が訪問。 ・家庭訪問員は、市が実施している子育てサポーター養成講座を受講し、一定期間、子育て支援に関する活動の経験を有する者。				

令和2～3年度実績

見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(対象者数)	1,657人 (電話1,123人)	1,503人 (電話1,021人)	1,910人	1,910人	1,910人
	確保方策	・市(子ども保健課)において実施。 家庭訪問員(令和3年度:13人)、助産師(令和3年度:5人)が訪問。 ・家庭訪問員は、市が実施している子育てサポーター養成講座を受講し、一定期間、子育て支援に関する活動の経験を有する者。				

令和2～3年度実績

令和4～5年度実績

令和6年度実績

実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(対象者数)	1,657人 (電話1,123人)	1,503人 (電話1,021人)	1,388人	1,484人	1,381人
	確保方策	・市(子ども保健課 ※R6年度～ すこやか子どもセンター)において実施。 家庭訪問員(令和6年度:10人)、助産師(令和6年度:7人)が訪問。 ・家庭訪問員は、市が実施している子育てサポーター養成講座を受講し、一定期間、子育て支援に関する活動の経験を有する者。				

## 実績評価・今後の方向性等

当初計画策定時に見込んでいた出生数の減少に伴い、実績が大幅に減となっています。  
これに伴い、令和7年度以降の見込みについては、現状に即した計画値としました。  
引き続き、実績数値に注視し、適宜対応していきます。



# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑤-イ 養育支援訪問事業

## 事業内容

児童の養育に支援が必要な家庭に対し、訪問による支援を実施することで、当該家庭において安定した児童の養育が行えるようにする事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(延べ訪問世帯数)	170件	170件	170件	170件	170件
	確保方策（実施体制）	・市（子ども保健課）において実施。 ・養育支援訪問員（平成30年度：5人）、養育支援助産師（平成30年度：5人）が訪問。 ・1回あたりの支援時間は2時間以内とし、回数は8回を限度。				

### 令和2～3年度実績

### 見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(延べ訪問世帯数)	112件	117件	170件	170件	170件
	確保方策（実施体制）	・市（子ども保健課）において実施。 ・養育支援家庭訪問員（R3年度：4人）、養育支援助産師（R3年度：5人）が訪問。 ・1回あたりの支援時間は2時間以内とし、回数は8回を限度。				

### 令和2～3年度実績

### 令和4～5年度実績

### 令和6年度実績

実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(延べ訪問世帯数)	112件	117件	97件	134件	460件
	確保方策（実施体制）	・市（子ども保健課 ※R6年度～ すこやか子どもセンター）において実施。 ・①家庭訪問員（R6年度：2事業所へ委託）、②委託助産師（R6年度：8人）が訪問。 ①孤立や不安、虐待のリスクを抱える家庭に対する家事育児支援（家庭訪問員） ②育児不安や低出生体重児等を抱える家庭に対し専門的育児・相談支援（委託助産師）				

## 実績評価・今後の方向性等

当初計画策定時に見込んでいた延べ訪問世帯数に対し、新型コロナの影響などもあり令和2～4年度は減少しましたが、令和5年度は増加しています。

なお、令和6年度については、「こども家庭センター」の設置に伴う業務見直しにより、委託助産師の専門的相談支援に特化し、第1子目を出生した全家庭へ訪問を行っており、今後も妊産婦へ寄り添った支援を継続していきます。



2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑤-ロ 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

事業内容

虐待問題や子育て家庭の抱える様々な問題に対する予防や対応などを協議し、関係施設・機関等とともに包括的にサポートを行う事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無 (実施体制)	実施	実施	実施	実施	実施
「佐世保市子ども安心ネットワーク協議会」における委員会や検討会の定期的な開催、必要に応じた個別ケース会議の開催を通じ、子どもを守るための包括的なサポートを行います。						

令和2～3年度実績

見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無 (実施体制)	実施	実施	実施	実施	実施
「佐世保市子ども安心ネットワーク協議会」における委員会や検討会の定期的な開催、必要に応じた個別ケース会議の開催を通じ、子どもを守るための包括的なサポートを行います。						

令和2～3年度実績

令和4～5年度実績

令和6年度実績

実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無 (実施体制)	実施	実施	実施	実施	実施
「佐世保市子ども安心ネットワーク協議会」における委員会や検討会の定期的な開催、必要に応じた個別ケース会議の開催を通じ、子どもを守るための包括的なサポートを行います。						

実績評価・今後の方向性等

佐世保市子ども安心ネットワーク協議会の委員会、検討会については、令和2年度後半から、コロナ禍の中、対面での開催が困難な状況となり、紙面開催やリモートを駆使しながら実施してきました。

また、令和5年度及び令和7年度と委員改選の年であり、体制を一部見直し、より効率的な組織体制の構築に努めています。

今後についても、佐世保市子ども安心ネットワーク協議会（要保護児童対策地域協議会）等を通して、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応に努め、子どもを守るための包括的なサポートを行っていく必要があると考えます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑥子育て短期支援事業

## 事業内容

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等において必要な保護を行うショートステイ事業及び夜間養護等を行うトワイライトステイ事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（延べ利用人数）	130人	130人	130人	130人	130人
	確保方策（延べ利用人数）	130人	130人	130人	130人	130人

中間見直し	令和 2 ～ 3 年度実績			見直し後		
	区分	R2年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	量の見込み（延べ利用人数）	93人	57人	130人	130人	130人
	確保方策（延べ利用人数）	93人	57人	130人	130人	130人

		令和 2 ～ 3 年度実績		令和 4 ～ 5 年度実績		令和 6 年度実績
実績報告	区分	R2年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	延べ利用人数（R 6 年度は見込）	93人	57人	109人	100人	191人

## 実績評価・今後の方向性等

令和2～5年度における実績については、コロナ禍で受け入れが難しい時期があったことから計画値に至らない年度もありました。本事業の利用理由の傾向として「育児負担に対するレスパイト」が増加していること、さらに育てにくさを抱え、学童に至り、育児負担が増強するケースも多く見受けられます。

本事業については、人口減少傾向やコロナ禍による影響等にかかわらず、セーフティーネットとして、受入体制を十分に確保する必要があり、実績如何にかかわらず体制を維持する必要があると考えます。また利用実績の傾向から、親子関係の育成に寄与できるよう、今後、親子入所を取り入れていくこととしています。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑦ファミリーサポートセンター事業

## 事業内容

乳幼児や児童（小学生）の預かり等の援助を受けることを希望する者（依頼会員）と当該援助を行う者（提供会員）との相互援助活動に関するコーディネートを行う事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（延べ利用人数）	1,740人	1,750人	1,770人	1,790人	1,810人
	確保方策（延べ利用人数）	1,740人	1,750人	1,770人	1,790人	1,810人

### 令和2～3年度実績

### 見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（延べ利用人数）	2,212人	2,332人	2,430人	2,540人	2,650人
	確保方策（延べ利用人数）	2,212人	2,332人	2,430人	2,540人	2,650人

### 令和2～3年度実績

### 令和4～5年度実績

### 令和6年度実績

実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	延べ利用人数（R6年度は見込）	2,212人	2,332人	3,009人	2,718人	3,160人

## 実績評価・今後の方向性等

SNSを活用した広報、オンラインでの会員登録、業務システムの活用等、事業者による取組に加えて、子育て世帯における家庭状況の多様化などにより、当初推計よりも上回る状況となっています。

令和6年度実績においては、中間見直し時の見込みだけでなく、令和7年度以降の計画数値を上回っており、今後も現状の傾向が続くと想定されることから、近年の利用人数の動向から試算した人数をもって修正することを検討します。

## 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑧一時預かり事業(幼稚園在園児)

### 事業内容

家庭での保育が困難となった乳幼児について、幼稚園、認定こども園等その他の場所において預かり、必要な保育を行う事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み(延べ利用人数)	128,700人	132,250人	138,030人	144,820人	153,340人
	確保方策(延べ利用人数)	128,700人	132,250人	138,030人	144,820人	153,340人

中間見直し	令和 2 ～ 3 年度実績				見直し後	
	区分	R2年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	量の見込み（延べ利用人数）	104,896人	118,714人	120,950人	124,300人	127,140人
	確保方策（延べ利用人数）	104,896人	118,714人	120,950人	124,300人	127,140人

		令和 2～3 年度実績		令和 4～5 年度実績		令和 6 年度実績
実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	延べ利用人数	104,896人	118,714人	119,071人	126,322人	121,623人

### 実績評価・今後の方向性等

令和2～3年度は、1号認定子どもの減少傾向及び新型コロナウイルス感染症の影響のなかで、当初見込みほど増加はしていませんが、令和元年度に開始した幼児教育・保育の無償化により、延べ利用人数は増加傾向にあり、令和5年度実績においては中間見直し時の見込を上回りました。

子ども一人当たりの利用数は増加傾向にありますが、1号認定子どもは依然として減少傾向にあることから、令和6年度実績においては延べ利用人数が減少しており、当面は減少傾向が続くと考えられます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑧一時預かり事業(幼稚園在園児以外)

## 事業内容

一時的に家庭での保育が困難となった乳幼児について、幼稚園、保育所、認定こども園等その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行う事業

計画策定当初

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み（延べ利用人数）	4,040人	3,580人	3,670人	3,670人	3,670人
確保方策（延べ利用人数）	4,040人	3,580人	3,670人	3,670人	3,670人

中間見直し

令和2～3年度実績

見直し後

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み（延べ利用人数）	2,327人	1,959人	3,670人	3,670人	3,670人
確保方策（延べ利用人数）	2,327人	1,959人	3,670人	3,670人	3,670人

実績報告

令和2～3年度実績

令和4～5年度実績

令和6年度実績

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延べ利用人数	2,327人	1,959人	1,886人	2,300人	1,690人

## 実績評価・今後の方向性等

令和2～3年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により利用人数は減となっています。  
令和5年度においては、コロナによる影響の低減により利用人数が一定回復しましたが、令和6年度においては対象となる乳幼児の減少傾向等により利用人数が減となっています。当面は減少傾向となると考えられます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑨延長保育事業

## 事業内容

保育認定を受けた子どもについて、保育所、認定こども園等において、通常の11時間の保育時間を超えて保育を実施する事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	3,670人	3,670人	3,670人	3,670人	3,670人
	確保方策（利用実人数）	3,670人	3,670人	3,670人	3,670人	3,670人

中間見直し	区分	令和2～3年度実績		見直し後		
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	3,069人	2,947人	3,140人	3,140人	3,120人
実績報告	確保方策（利用実人数）	3,069人	2,947人	3,140人	3,140人	3,120人
	区分	令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績報告	利用実人数（R6年度は見込）	3,069人	2,947人	2,880人	2,912人	2,561人

## 実績評価・今後の方向性等

令和2～3年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により利用人数は減となっています。  
令和5年度においては、コロナによる影響の低減により、中間見直し時の見込の9割程度まで利用人数が回復しましたが、令和6年度においては少子化の影響等により、利用人数は減となっています。当面は減少傾向になると考えられます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑩病児保育事業

## 事業内容

児童が発熱等急な病気となった場合、病院に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育する事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	3,200人	3,200人	3,200人	3,200人	3,200人
	確保方策（利用実人数）	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人

### 令和2～3年度実績

### 見直し後

中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	1,603人	1,579人	3,200人	3,200人	3,200人
	確保方策（利用実人数）	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人

### 令和2～3年度実績

### 令和4～5年度実績

### 令和6年度実績

実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	1,603人	1,579人	1,121人	1,831人	1,856人
	確保方策（利用実人数）	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人	9,408人

## 実績評価・今後の方向性等

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により利用人数は減となっています。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用制限の緩和等により利用人数が回復傾向にあり、令和6年度においても利用人数は増となっています。

一方で少子化等の影響もあるため、当面は横ばいまたは緩やかな減少傾向となると考えられます。



# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑪放課後児童健全育成事業

事業内容

保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童に対し、放課後や学校が休みの時などに、保護者が帰宅するまでの時間に遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	2,736人	2,843人	2,955人	3,027人	3,082人
	1年生	880人	916人	954人	978人	996人
	2年生	753人	785人	818人	839人	855人
	3年生	507人	528人	551人	565人	575人
	4年生	314人	323人	332人	339人	345人
	5年生	178人	184人	189人	193人	196人
	6年生	104人	107人	111人	113人	115人
	確保方策（利用定員数）	2,975人	3,055人	3,135人	3,215人	3,255人

令和 2 ～ 3 年度実績			見直し後			
中間見直し	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5 年度	R 6 年度
	量の見込み（利用実人数）	2,757人	2,634人	2,731人	2,815人	2,790人
	1 年生	857人	757人	786人	796人	788人
	2 年生	713人	752人	784人	793人	785人
	3 年生	556人	499人	523人	542人	538人
	4 年生	332人	355人	357人	377人	373人
	5 年生	194人	166人	166人	175人	174人
	6 年生	105人	105人	115人	132人	132人
	確保方策（利用定員数）	2,975人	2,965人	2,965人	3,045人	3,085人

		令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
実績報告	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込み（利用実人数）	2,757人	2,634人	2,536人	2,609人	2,638人
	1年生	857人	757人	781人	827人	771人
	2年生	713人	752人	626人	687人	741人
	3年生	556人	499人	560人	479人	517人
	4年生	332人	355人	279人	349人	320人
	5年生	194人	166人	195人	155人	191人
	6年生	105人	105人	95人	112人	98人
	確保方策（利用定員数）	2,975人	2,965人	2,948人	2,986人	2,957人

実績評価・今後の方向性等

近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等もあり、令和3年度と令和4年度は利用者が減少したものの、令和5年度以降徐々に利用者が増えてきています。留守家庭の割合につきましては今後も増加傾向と見込まれますが、少子化の影響もあり、利用人数の伸びは鈍化するものと見込まれます。令和7年度以降についても、利用人数の動向を注視しニーズや地域の実情等に応じた定員数の確保を検討していきます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

## 事業内容

子どもが幼児教育・保育を受けた場合において、保護者が支払うべき日用品、文房具等の購入に要する費用や給食費（副食材料費）等について、世帯所得の状況等を勘案して、その一部を助成する事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無（実施内容）	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施
	新制度未移行の幼稚園を利用する児童の副食材料費の一部助成について実施。 なお、他の費用については、国の状況等を見ながら、必要に応じ検討。					

中間見直し	区分	令和2～3年度実績		見直し後		
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無（実施内容）	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施
	新制度未移行の幼稚園を利用する児童の副食材料費の一部助成について実施。 なお、他の費用については、国の状況等を見ながら、必要に応じ検討。					

実績報告	区分	令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	実施の有無（実施内容）	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施
	新制度未移行の幼稚園を利用する児童の副食材料費の一部助成について実施。 なお、他の費用については、国の状況等を見ながら、必要に応じ検討。					

## 実績評価・今後の方向性等

保護者が利用する施設の違いで同収入世帯の副食費負担が生じないよう公平性の観点からも引き続き実施が必要と考えます。

# 2 地域子ども・子育て支援事業実績 ⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業

## 事業内容

[新規参入施設等への巡回支援]  
市町村が教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業に新規参入する事業者に対して、事業経験のある者を活用して巡回支援等を行う事業

[認定こども園特別支援教育・保育経費]  
健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受け入れる認定こども園に対して、職員の加配に必要な人件費の一部を助成する事業

計画策定当初	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	今後の方針	・国の状況等を見ながら、必要に応じ、事業実施について検討				

中間見直し	区分	令和2～3年度実績		見直し後		
	今後の方針	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		未実施	未実施	・国の状況等を見ながら、必要に応じ、事業実施について検討		

実績報告	区分	令和2～3年度実績		令和4～5年度実績		令和6年度実績
	今後の方針	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		未実施	未実施	未実施	未実施	実施

## 実績評価・今後の方向性等

令和6年度から「認定こども園特別支援教育・保育経費」を実施し、障がい児を受け入れる認定こども園に対し、職員の加配に必要な経費の助成を行っており、今後も継続して実施が必要と考えます。